

2022年10月24日

《概説》OFACの公表したロシア制裁の効果に関する分析

国際輸出管理調査・協力部  
上席主任研究員 則竹 幹子

米国財務省 OFAC は、2022 年 10 月 14 日にロシア制裁に参加する 33 か国の政府当局者との会合で、これまでのロシア制裁を総括し、新たな制裁措置について協議した<sup>1</sup>。その席上、2022 年 2 月以降に実施された制裁の効果に関する分析が参加国との間で共有された。

会合で、開会の辞を述べたウォリー・アディエモ財務副長官は、制裁の効果に関してつぎのようにコメントした<sup>2</sup>。

制裁の全体的な影響は甚大である。

- ・ロシアは高度な技術と金融システムにアクセスできず、ロシアの防衛産業が武器を生産したり、戦争で破壊されたものを交換したりする能力を妨げている。
- ・ロシアでは、軍産複合体にとって重要なマイクロエレクトロニクスが不足し、ロシア当局者は、海外からの部品が不足していることを懸念している。
- ・ロシア最大の国内マイクロエレクトロニクスメーカーの 2 社は、重要な外国技術の不足により、一時的に生産の停止を余儀なくされた。

上記の分析は、同日、「財務省、国務省、商務省合同アラート：制裁及び輸出規制がロシアの軍産複合体に及ぼす影響 (Treasury-Commerce-State Alert: Impact of Sanctions and Export Controls on Russia's Military-Industrial Complex)」<sup>3</sup>として、OFAC のホームページに掲載された。

[https://home.treasury.gov/system/files/126/20221014\\_russia\\_alert.pdf](https://home.treasury.gov/system/files/126/20221014_russia_alert.pdf).

公表の目的は、ロシアの防衛力を標的とした制裁措置および輸出規制の影響について一

---

<sup>1</sup> “READOUT: Deputy Secretary of the Treasury Wally Adeyemo’s Meeting of Countries Imposing Economic Restrictions on Russia”, OFAC, October 14, 2022, <https://home.treasury.gov/news/press-releases/jy1021>.

<sup>2</sup> “Remarks by Deputy Secretary Wally Adeyemo at Meeting of Countries Imposing Economic Restrictions on Russia”, <https://home.treasury.gov/news/press-releases/jy1020>.

<sup>3</sup> “Treasury-Commerce-State Alert: Impact of Sanctions and Export Controls on Russia’s Military-Industrial Complex”, [https://home.treasury.gov/system/files/126/20221014\\_russia\\_alert.pdf](https://home.treasury.gov/system/files/126/20221014_russia_alert.pdf).

般に周知し、ロシアの軍産複合体を支援することの危険性を警告することにある、という。

この合同アラートは、次のような項目で構成されている。

- (1) 国務省及び財務省が行った制裁措置の総括
- (2) 商務省が行った制裁措置の総括
- (3) 制裁措置の戦略的意図とその影響度合いの分析
- (4) 制裁の抜け駆ける行為に関する断固たるけん制

本稿では、(3)について概説することとし、(1)、(2)、(4)については、

「ロシア・ベラルーシ向け制裁・輸出規制に関する最近の動向 —22 年 9 月の米国 EAR の大幅改正・制裁強化と、制裁の効果を窺わせる諸材料 (CISTEC 事務局)」<sup>4</sup>

[https://www.cistec.or.jp/service/zdata\\_russia/20220922.pdf](https://www.cistec.or.jp/service/zdata_russia/20220922.pdf) をご参照いただきたい。

(3)の具体的な制裁の効果に関する主な分析は以下のとおり。

制裁と輸出規制は外国からの輸入品に大きく依存しているロシアの防衛産業基盤に対して長期にわたる深刻な影響を及ぼしている。米国と同盟国は、ロシアによる先進的な商品や技術、サービスへのアクセスを制限することで、ロシアの防衛産業が戦争で破壊された兵器を交換する能力を低下させた。

- ・ロシアの主要戦車メーカーUralvagonzavod は、外国製部品の不足が原因で、従業員の一時解雇を余儀なくされた。
- ・ウクライナに駐留するロシア軍への供給が大幅に不足し、制裁や輸出規制の影響もあって、ロシアはイランやインド、イラン、北朝鮮など技術的に進んでいない国に頼らざるを得なくなった。

ロシアの防衛産業は、マイクロエレクトロニクスの輸入に依存している。米国と同盟国による規制の結果、ロシアの武器製造の生命線である半導体の世界全体からの輸入は、約 70% 減少した。

- ・ロシアの極超音速弾道ミサイルは、必要な半導体が不足しているため、その製造はほぼ停止している。
- ・自動車の生産台数は昨年に比べ 4 分の 3 に減少した。これは、民生用の重要な先端マイクロチップが軍事用に転用されていることを示すものだ。ロシア軍は食器洗い機や冷蔵庫のチップを共食いさせて、軍用機器の補修をしているという。
- ・ロシアのメディアは、次世代空中早期警戒管制機 (AEW&C) の生産が半導体などの海外部品の不足で停滞していると報じた。
- ・半導体などの海外からの部品不足により、地对空ミサイル (SAM) 製造などの機械工場

---

<sup>4</sup> [https://www.cistec.or.jp/service/zdata\\_russia/20220922.pdf](https://www.cistec.or.jp/service/zdata_russia/20220922.pdf).

が閉鎖された。

- ・ ソ連時代の防衛関連の在庫を使い始めた。

OFAC は、ロシアの軍産複合体に弾薬やその他の支援を提供する非米国人だけでなくロシアの軍産複合体に参加する民間軍事会社（PMC）や準軍事組織などにいたるまで、広範なターゲットに対してその権限を行使する用意がある。

- ・ ロシアがエネルギー価格の高騰と外貨準備の蓄積という恩恵を受ける一方で、米国政府はパートナーや同盟国と協力して約 3000 億ドル相当の資産を凍結し、ロシア中央銀行が戦争を支援する能力を制限した。
- ・ ロシアのオリガルヒや金融機関は、長年保有していた資産の売却を余儀なくされた。
- ・ いくつかの国の銀行はロシアの決済システム「Mir」の利用を停止するなど、ロシアの金融セクターとの関係を縮小することとなった。

マクロ経済の観点からみれば、プーチンの戦争はロシア経済の急激な収縮を招いた。今後何年にもわたり、ロシア経済の足を引っ張るだろう。

- ・ 国際通貨基金(IMF)、世界銀行、経済協力開発機構(OECD)の予測では、ロシア経済は 2022 年に 3.4~5.5%、2023 年に 2.3~4.5%縮小すると予測している。これは、民間調査機関の予測とほぼ一致する。
- ・ 投資を軍事費に振り向け、重要な技術へのアクセスを失った結果、頭脳流出により人的資本が減少するうえ、企業も先進国の金融市場から切り離され、長期的には、潜在成長率は非常に低くなると予想される。
- ・ 制裁の影響、プーチンの選択、そして見通しの不透明感から、多国籍企業がプーチンのロシアから撤退した。推定では、1,000 社以上のグローバル企業がロシアでの事業を縮小または停止している。
- ・ 学术界や民間企業のアナリストによると、ロシアでは世界からの輸入が約 30%減少し、依然として侵攻前の水準を下回る状態が続いているとの試算がある。

(了)